



世界から一番近い「江戸」

日本遺産 (Japan Heritage) とは

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するものです。

ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

日本遺産「北総四都市江戸紀行」

平成28年(2016)、江戸を支えた北総四都市の歴史の物語が、「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」として日本遺産に認定されました。



© Anthony Wood



時は江戸時代——。江戸の町には日本らしい魅力的な文化が花開きました。素晴らしい町並みが形成され、江戸ならではの精神・生活・祭礼が生まれました。人々を魅了してやまない江戸の町は、やがて世界でも類例のない百万都市へと成長し、さらにより豊かな文化を開花・結実させていきました。

時は今——。かつての江戸・東京は、日本を世界を代表するメガロポリスとなっています。この進化した都市に、かつての江戸の面影をとのくらい感じることができるでしょうか……。

時は今、場所は佐倉、成田、佐原、銚子——。ここは当時の江戸を支え、江戸とともに発展した北総の四都市。そして、今なお江戸情緒を感じることができる町です。成田空港からも近いので、世界から一番近い「江戸」として注目されています。



城下町 佐倉



門前町 成田



商家の町 佐原



港町 銚子

江戸を支えた2つの道

～佐倉道と利根水運

佐倉にあった佐倉城は江戸防御の要であり、この佐倉城と江戸を結ぶ佐倉道(成田街道)が整備され、人々の往来が盛んになりました。さらに、成田参詣が流行したことで、佐倉城から成田山新勝寺まで足を運ぶ参詣客が増加しました。

利根川は物流の大動脈となり、佐原は利根水運を利用した商業活動により商家が栄えました。銚子では、醤油や水揚げされた海産物が江戸の食文化を支えました。

大都市江戸に隣接した北総四都市は、この江戸とつながる2つの道により、江戸の影響を受けながら、城下町の佐倉、門前町の成田、商家町の佐原、港町の銚子という特色ある独自の発展を遂げました。

北総四都市には、江戸時代から変わらぬ町並みや祭礼等の伝統文化が今も受け継がれています。江戸の賑わいと風情を感じることができる北総四都市に、足を運んでみませんか。

ワタシたちも、ここ北総四都市で江戸に出会いました！



成田 香取 鹿島 息栖 細見絵図(千葉県立中央博物館蔵)